

東京病院ニュース

第85号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

新型コロナウイルス感染症 第5波

国立病院機構東京病院院長 當間 重人

結局のところ期待は叶わず、6月以降、新型コロナウイルス感染症の広がりには災害級と言われるほど大きな第5波となってしまいました。

東京都においては4回目の緊急事態宣言が発出されており、8月31日現在、今年に入ってから緊急事態宣言が解除された日は62日/243日（25.5%）しかなかったこととなります。

さらには、深刻な医療逼迫状態を呈するようになってきたため、厚生労働大臣と東京都知事は、8月23日、改正感染症法に基づき都下全ての医療施設に新型コロナウイルス感染症対策へのさらなる協力要請を行いました。このため特に新型コロナウイルス感染症に対応している病院では、一般診療への影響が出ています。国立病院機構東京病院においても状況は同様ですが、新型コロナウイルス感染症対策強化とともにかかりつけ患者さんへの対応など、地域医療への貢献も果たして参ります。

8月下旬から新規診断患者数が減少傾向を示し始めたように思える情報が発信されていますが、学校再開や新たな変異株の影響など、予断を許さない状況が続いています。しかしながら、ワクチン接種が進んでいること、新規治療薬が登場したこともあり、着実に対新型コロナウイルス体制が構築されつつあります。このような状況においても最も大切な対策は、やはり「うつらない、うつさない」ということです。ワクチン接種後の感染例が数多く報告されています。ワクチンにより重症化リスクが軽減されても、うつり・うつすリスクがあるということを肝に銘じなければなりません。年齢関係なく、ワクチン接種歴関係なく、「うつらない、うつさない」行動を継続していく必要があります。

今夏も大雨・線状降水帯による大変な水害・土砂災害が発生してしまいました。「50～100年に一度」とか「経験したことのない」災害と表現されることがありますが、そのようなレベルの自然災害が毎年発生しています。これらの自然災害に関しては、リスク軽減策があるはずなので国を挙げての取組に期待したいと思います。このことは、自然災害×新型コロナウイルス感染症など新興感染症による相乗的災害を発生させないことにも繋がるはずで、近年、稀ならず発生している大災害（自然災害や新型コロナウイルス感染症などの新興感染症を含む）対策は時間がかかるものも多いと思われませんが、着実に進めていく必要があります。命を守る行動の根本的対策として。

東京病院は、コロナ禍にあっても全ての部署が職務を全うすべく懸命に努力しています。そして、患者さんにとって快適で充実した医療を受けることができる病院づくり、また職員全員にとって気持ちよく楽しく働ける職場環境づくりのため、無限の発展に努めております。



連携医の方を紹介します

東京病院では、他医療機関と連携することにより患者さんの症状等に応じた医療を行うことができるように、地域医療連携体制を構築しております。

ひばりヶ丘診療所

熊野 雄一 先生



【診療科目】 内科・胃腸内科・小児科

【ご挨拶】

ひばりが丘団地の近くに診療所を構え50年になります。私自身は当診療所を2002年に継承しました。団地も新しくなり、若い家族も増え、小児から高齢者まであらゆる世代の診察、健診、予防接種などを行っています。また専門である上部消化管内視鏡検査、腹部超音波検査にも力を入れています。東京病院には検査や入院など、いつも丁寧な対応をしていただいています。現在は、新型コロナウイルス感染症患者の治療など病院は大変な状況と考えます。当院でも発熱患者の診察、唾液PCR検査そしてワクチン接種を行っています。新型コロナウイルス感染症そして他疾患においても今後とも連携をよろしく申し上げます。

所在地	〒203-0021 東京都東久留米市学園町2-11-14
電話番号	042-421-0973
ホームページ	https://www.hibarigaoka.jp/
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 西武池袋線『ひばりヶ丘駅』より、ひばりヶ丘駅南口から西武バスで田無駅行き(南沢5丁目経由、西友の前より発車)に乗り、ひばりが丘団地北口下車すぐ 西武新宿線『田無駅』より、田無駅北口から西武バスでひばりヶ丘駅(南沢5丁目経由)に乗り、ひばりが丘団地北口下車すぐ 無料駐車場あり有(4台)



受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30 ~12:00	○	○	○	○	○	○	
15:30 ~18:30	○	○	○		○		

【休診日】 木曜・土曜午後・日曜・祝日

※ 健康診断は木曜と土曜の午前も受け付けております。

「新型コロナウイルス感染症～ブレイクスルー感染とは～」

国立病院機構東京病院 感染症科部長 永井 英明

新型コロナウイルス感染症の第5波は収まりつつあります。患者数が減少した理由としてはワクチンの効果、人流の減少などが挙げられています。ワクチンの接種率は日本では全体で1回目67.2%、2回目55.1%（9月22日現在）で、65歳以上の高齢者では1回目90.1%、2回目88.7%ときわめて高率です。清瀬市では全体で1回目67.9% 2回目56.8%（9月21日現在）で、65歳以上の高齢者では1回目86.8%、2回目85.6%とやはり高率です。国全体の接種率は急速に高まり、先行していた欧米並みになりました。高齢者についてはほとんどの人の接種が済んでおり、第5波では高齢者の患者数は減少しており、ワクチン接種の済んでいなかった30歳代～50歳代の患者数が多くを占めていました。しかしながら、感染力の強いデルタ株が大部分を占めるようになり、ワクチンの接種が済んだ人達に発病者が出るようになりました。これをブレイクスルー感染と言います。ブレイクスルーとは「壁を突破する」という意味があり、ワクチンによる防御壁が突破されてしまったという意味で使われています。2回目のワクチン接種が済んでから14日以降にコロナを発病した場合を言います。ワクチン接種が先行した国々で以前よりブレイクスルー感染が報告されていましたが、わが国でも報告されるようになりました。ファイザー社やモデルナ社のメッセンジャーRNAワクチンは非常に有効なワクチンであり、初期のウイルスに対しては、発病を防ぐ効果は94～95%あり、感染そのものを防ぐ効果も91.5%あると報告されていました。しかし、その後デルタ株にほぼ置き換わってしまったイスラエルでは、発病や感染を防ぐ効果が64%まで下がってしまいました。しかし、入院を防ぐ効果は93%と高いレベルを維持しており、ブレイクスルー感染で発病した人は軽症例が多く、入院や重症化や死亡が抑えられており、ワクチンの効果は十分期待できると考えられます。したがって、ブレイクスルー感染があるじゃないか、ワクチンを接種しても意味がないという意見は間違っています。そもそも感染や発症を100%防ぐことのできるワクチンはありません。コロナを発病した場合のマイナス（重症化や死亡するリスクがある、後遺症が残るリスクがある、大事な人に移してしまうリスクがある）を考えると、接種しない場合と比べて圧倒的に効果のある現在のワクチンを接種しないという選択肢はないと、個人的には考えています（アレルギー等で体質的に接種できない人は接種しない方が良いでしょうし、ご自分のお考えで接種しない人もいますので最終的には個人の判断です）。しかし、ワクチンを接種してもマスクの着用、3密を避けるなどの従来の予防法は当分の間は継続しなければなりません。

今年もインフルエンザワクチンを接種する時期になりましたが、コロナのワクチン接種も行われていますので、インフルエンザワクチンとの接種間隔には注意が必要です。欧米ではこの2つのワクチンの同時接種が認められている国もありますが、わが国ではコロナワクチンと他のワクチンとの接種間隔は14日間とされています。これから2つのワクチン接種を考えている人は医療機関とご相談ください。

シリーズ診断と治療 ▶ 高次脳機能障害

「高次脳機能障害」という言葉を聞いたことはありますか？交通事故や脳血管障害で脳に損傷を受けた後、運動機能は回復しても今までの生活がうまくできなくなってしまうことがあります。「新しいことが覚えられない」「気が散って集中できない」「すぐ怒り出す」「よく知っている場所で迷子になる」「計画を立てられない」など、このような症状がある場合、それは「高次脳機能障害」によるものかもしれません。「高次脳機能障害」は外見上症状が目立たないため、周囲が気づきにくいことが特徴です。症状や回復の程度は、ひとりひとり異なりますが、症状の現れ方は、時間帯・疲労・環境・状況により変わります。このため、ご自身や周りの人が気づき、理解を深め、適切な環境を整えてあげることが大切です。

東京都は、高次脳機能障害支援普及事業として東京都心身障害者福祉センターを中心に様々な活動を行っています。その一環として、北多摩北部医療圏（小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市）でも専門的リハビリテーションを提供するための支援ネットワーク協議会を立ち上げ、当事者やご家族を支援するための交流会、高次脳機能障害のための医療技術者向け研修会や事例検討などを、行政・医療・福祉が連携して行っています。

しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症流行のため、専門職向け研修会や市民交流事業が相次いで中止となりました。このため、当事業は、WEBサイトを解説し、専門職向け研修会をサイトで公開、またオンライン講演会をオンデマンド配信しています。現在一般公開中の講演は「脳卒中後にみられる失語症の理解とその対応について」「脳卒中・脳外傷になったあなたが自動車運転を再開するために必要なこと」等です。御興味ある方は是非アクセスしてください。また、当事業が作成しているパンフレット「高次脳機能障害って何だろう？」は高次脳機能障害によくみられる症状を解説するとともに、地域の中で受けられる支援や相談窓口、関連施設などをマップ上に見やすく掲載しました。こちらは病院のホームページからも閲覧頂けるようになっています。是非御活用下さい。



当Webサイトをご覧いただきありがとうございます。
 私たちは北多摩北部医療圏（東京都清瀬市・東久留米市・東村山市・西東京市・小平市）の高次脳機能障害をもつ患者さんを支援し、障害について普及啓発を行うことを目的とした事業を運営しています。
 当Webサイトでは、当事業が行っている一般の方向けのイベント、高次脳機能障害やリハビリテーションについて情報を発信しています。
 なお当事業では個別のご相談についてはお受けしていません。医療機関・事業所などの方は「お問い合わせ」からご連絡いただけますと幸いです。
 当事業については[こちら](#)（国立病院機構東京病院リハビリテーション科Webサイト）もご参照ください。
 また、高次脳機能障害のパンフレットも作成しています。[こちら](#)からご覧ください。
 北多摩北部医療圏高次脳機能障害支援普及事業



脳卒中後にみられる失語症とその理解について

外国旅行をイメージすると理解しやすい

- 聞き取れない
- 話せない
- 相手の言ったことが繰り返せない



QRコードを読み取ってください WEBサイト、オンデマンド講義にアクセスできます

結核について (30)

呼吸器内科医長 山根 章

前回も、結核の発病予防（＝潜在性結核感染症治療）についてお話ししました。

要約すると、

- ① 潜在性結核感染症治療のために、リファンピシン (RFP) とイソニアジド (INH) の併用法が提唱されているが、まだ公費負担の対象となっていない。
- ② 外国ではINHとリファペンチン (RPT)の併用療法も行われている。3ヶ月間に12回の内服で終了できる治療で成績もよいが、日本ではまだ行われていない。
- ③ 潜在性結核感染症治療においても活動性結核と同様に規則正しい内服を行うことが重要である。そのため、保健所が服薬支援を行っている。

ということでした。今回も引き続き潜在性結核感染症治療について考えてみたいと思います。

一般の活動性結核の場合には、治療が終了した後に最低2年間は経過観察を行って、再発しないかどうかを見ています。潜在性結核感染症においても、従来は治療終了後に2年間の経過観察を行って発病の有無を確認していました。しかし、この場合にそのような経過観察が本当に必要なのかという疑問がありました。

例えば、潜在性結核感染症（無症状だが結核菌に感染している状態）と診断されて、発病予防（潜在性結核感染症治療）を行うことが望ましいと判断された場合でも、何らかの事情で治療が行われないことがあります。そのような場合には、2年間は経過観察を行うこととされています。さて考えてみれば、この場合には2年間で医療機関や保健所による管理から外れることができるのに、治療を受けた場合には治療期間に加えてさらに2年間の経過観察期間があるということになってしまいます。治療を受けていない人の方が発病のリスクが高いのに診断後の観察期間が短いのは変な感じもします。逆に考えれば、治療を受けた人の経過観察期間が長すぎるようにも思えます。

また、結核患者への接触後に潜在性結核感染症と診断された人のうち治療を受けなかった人は、以前にもお話ししたように接触後2年間の発病率が高いことがわかっています。だから、2年間の観察期間をおくのは理にかなっています。それに対して、治療を受けた人の発病率は低いのですが、発病時期は接触後2年間に限らず、遅れて発病することも少なくないようです。従って、観察期間を2年とする根拠は薄いようです。

一般的に、きちんと治療を受けた潜在性結核感染症の方は発病率が低いと考えられますので、発病リスクが高いと考えられる場合を除くと観察不要としてもよいと考えられます。ただし、発病の可能性がゼロになるわけではないので、咳などの結核らしい症状が出た場合にはすぐに医療機関にかかるようにする必要があります。

ここで、発病リスクが高いと考えられる場合とはどういうものを指しているかということ、たとえば、大量排菌している患者さんに長期間接した場合や、集団感染例で接触者の発病率が高い場合などがあげられます。前者では体に入った結核菌量が多いと考えられますし、後者では毒力の高い結核菌が原因となっているのかもしれませんが、いずれも、発病リスクを上げる要因となるでしょう。

今回はここまでです。次回も潜在性結核感染症治療に関するお話しをしたいと思います。

～令和3年 リハビリテーション科紹介～

リハビリテーション科

わが国最初の理学療法士・作業療法士専門養成施設発祥の地である当リハビリセンターの周囲は、武蔵野の雑木林の面影を残し、緑と明るい陽射しが満ちていて、今も昔も訓練に来られる方たちを優しくそして力強く迎えています。

当リハビリテーション科には、専門病棟として3階西に「回復期リハビリ病棟」50床があり日曜祝日も含めた365日、複数のリハ専門医を含む4名の医師が主治医となって、脳血管障害や骨折術後を中心に多職種チーム医療を展開しております。患者さんを中心に医師・病棟看護師・PT/OT/ST・栄養士・薬剤師・歯科医師 / 歯科衛生士・ソーシャルワーカーが情報を共有し、ケアマネジャーや在宅医療のチームとも連携して、より良い状態で地域に帰れるようお手伝いをしています。



また、当院には、回復期リハビリ病棟の他にも呼吸器疾患や周術期、神経難病やがん緩和ケア期などリハビリを必要としている患者さんが大勢おられるのに対し、スタッフの数だけからいえば他の病院と比べて決して恵まれているとは言えませんが、40年間培った経験とチームワーク、そして地域の先生方を始め訪問看護や介護サービス担当者の方々との顔の見える信頼関係のもと、患者さんにご家族が安心して地域に帰れるようお手伝いしています。当センターは、院外活動として、北多摩北部地域のリハビリテーション支援事業や高次脳機能障害支援ネットワーク、脳卒中ネットワークのメンバーとして、今後も地域の皆様と歩んでいきたいと考えております。





独立行政法人 国立病院機構東京病院

出前講座のご案内

東京病院では、地域の方々との交流、健康づくりのお手伝いの一助として、当院職員による「出前講座」をご用意いたしました。皆様の地域に出向いて、専門的な内容を分かりやすくお話いたします。また、地域の皆様との交流を通じ、当院への理解を深めていただけるような講座になっております。まずはお気軽にお電話ください。

番号	講座名	講師
1	たばこの害について	副院長 松井弘稔
2	PM2.5はどれほど危険か	副院長 松井弘稔
3	いびきを放置するのは危険？～睡眠時無呼吸の話～	副院長 松井弘稔
4	増えている非結核性抗酸菌症	感染症科部長 永井英明
5	結核は過去の病気ではありません！	感染症科部長 永井英明
6	大人のワクチンについて	感染症科部長 永井英明
7	こんな時は脳神経内科を受診してください（脳神経内科が診療する疾患について）	脳神経内科医長 小宮正
8	脳卒中になったら、ならないために…	脳神経内科医長 小宮正
9	認知症の予防と治療について	脳神経内科医長 小宮正
10	パーキンソン病の治療の進歩	脳神経内科医長 小宮正
11	「お茶でむせる」は要注意！～飲みこみの障害とその対策について	リハビリテーション科医長 伊藤郁乃
12	感染症から身を守ろう！～今日からできる正しい手洗い～	感染管理認定看護師 松本優子
13	抗がん剤と副作用	がん薬物療法認定薬剤師 植木大介
14	ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは	副薬剤部長 齋藤敏樹
15	早期からの緩和ケアについて	緩和ケア内科医長 池田みき
16	もしパナゲーム(もしものときの話し合い)～命の危険が迫っている時、あなたは何を大切に生きていますか？	緩和ケア認定看護師 村山朋美

○開催日時・場所

開催日時は、原則平日の午前9時から午後5時の間で、1時間程度といたします。
会場のご用意は、主催団体側にてお願いいたします。

○申し込みができる団体

町内会、自治会、老人会、市民サークルなどの地域団体、企業、学校などで、
当日概ね20人以上の参加が見込まれる団体です。

○申込方法（☎042-491-2111）

希望日の概ね2週間前までに、東京病院経営企画室までお電話で希望日時と講座名を
お伝えください。日程調整を行い、当院担当者よりご連絡を差し上げます。

○その他

講演料は無料となりますが、講師の開催場所への移動に関する交通費等は、
主催団体側にてお願いしております。

○お問い合わせ 東京病院経営企画室 TEL042-491-2111



独立行政法人 国立病院機構 東京病院

外来診療担当医師表

(令和3年 10月 1日 現在)

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1 TEL 042-491-2111(代) FAX 042-494-2168

<予約センター> TEL 042-491-2181 ※平日の8時30分～15時00分

<地域医療連携室> TEL 042-491-2934/FAX 042-491-2125 ※平日の8時30分～15時30分(医療機関からの問い合わせを除く)

【受付時間】 初診 : 8時30分～14時00分
再診(予約外) : 8時00分～11時00分

★は、予約患者様のみの診療です。

診療科名	月	火		水		木		金		備考			
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後				
呼吸器センター 呼吸器内科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医			
	再診	★武田	★川島(正)	★佐々木	★扇谷	★榎本	★渡辺	★田村	★山根	松井		★中村	
		佐藤(亮)	★渡辺	島田(昌)	★日下	永井(英)	★扇谷	山根	★小田島	田村			
		★渡辺	★田村	★扇谷	★榎本	★守尾	★守尾	鈴木(純子)	★鈴木(純子)	★成木			
		松井	★鈴木(純子)	★大島	★佐藤(亮)	★成木	★井上(恵)	日下	★川島(正)	★中村			
		★中野	★武田	小田島	★島田(昌)	★赤川	★川島(正)	★武田	★武田	大島			
		井上(恵)	★中野		★池田		★益田	★島田	★榎本				
	鈴木(純子)	★扇谷		★小田島			伊藤	★渡辺					
								★佐々木					
								伊藤					
	間質性肺炎					★赤川							
	非結核性抗酸菌症					★佐々木							
	結核・非結核性抗酸菌症・肺真菌症 セカンドオピニオン				★佐々木								
	いびき・COPD	当番医		当番医		★松井	★松井	当番医		当番医			
	咯血				★川島※2							喀血外来は ※1 第2週・第4週の診療 ※2 第1週・第3週・第5週の診療	
肺がんセカンドオピニオン								★田村					
感染症								★永井(英)					
禁煙				★松井									
肺高血圧		★日下											
抗酸菌症										★山根			
慢性呼吸器疾患 管理外来	★認定看護師	★認定看護師											
呼吸器外科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医				当番医	当番医			
	再診	飯田		井上(雄)						深見			
喘息・アレルギー・リウマチセンター アレルギー科(喘息)	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医			
	再診	田下	田下	田下	★田下	田下		鈴木	★田下	★大田			
		鈴木				小林	★小林						
	杉花粉症舌下免疫療法				★当番医				★当番医				
リウマチ科	初診					當間	當間	古川	古川				
	再診					當間	當間	古川	古川				
眼科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	眼科の初診は、 月・水・木・金は、14:00まで受付 火は、11:00まで受付 火は、第2、4週のみ診療		
	再診	上甲		上甲		上甲		上甲		中山			
耳鼻咽喉科	初診			★田中	★田中			★栗岡					
	再診			★田中	★田中			★栗岡					
消化器センター 消化器内科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	消化器内科の初診は、 月・金は、12:00まで受付 ※1 第2週・第4週のみ診療 ※2 第1週・第3週・第5週のみ診療		
	再診	★上司	★上司	★佐藤		★鈴木		★上司※1	★時田※1	佐藤			
		喜多	★鈴木							★喜多			
	消化器外科	初診			当番医	当番医			当番医	当番医		当番医	
再診				北條		中田		中田	元吉				
総合診療センター 総合内科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	神経内科の初診は、 月・水・木・金は、14:00まで受付 火は、11:00まで受付 ※1 第1週・第3週のみ診療 ※2 第2週・第4週・第5週のみ診療		
	再診	椎名		小宮		小宮		★栗崎※1	★栗崎※1	中村(美)			
		石津		中村(美)		椎名		石津		小宮			
	ものわずれ						★小宮	★栗崎※2					
	高次脳機能障害						★栗崎※1	★栗崎※1					
	整形外科	初診			堀		三宅	三宅		堀		小俣	
		再診	★堀		堀		★堀					小俣	
	リハビリテーション科	初診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医		当番医	※第1週・第3週のみ診療
		再診	★当番医	★当番医				★濱田※				★佐藤(広)	
	泌尿器科	初診	瀬口		山中		瀬口			山中			泌尿器科の初診は、11:00まで受付 ※第1週・第3週・第5週のみ診療
再診		瀬口	★山中※	山中		瀬口			山中				
緩和ケア内科				池田				三上	三上	永井(英)	池田		
歯科	初診	高島		高島		高島		高島		高島	高島		
	再診	高島		高島	★高島	高島	★高島	高島	★高島	高島	★高島		
放射線科	初診		★張					★張		★多湖	三上		
	再診	★張	★張	★三上	★三上	★張	★張	★三上	★三上	★三上	★三上		

清瀬市より新型コロナウイルス対応への感謝状をいただきました

去る令和3年6月29日（火）、最前線で新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されたとして、東京病院の所在市である清瀬市より感謝状を頂戴いたしました。また、渋谷市長は、直接感謝の意を伝えたいとして当院へ来訪され、「東京病院の職員が一丸となって新型コロナウイルスに立ち向かい、感染患者の受入やPCR検査及びワクチン接種を行っていただき感謝している。」とのお言葉をいただきました。

當間院長は「今後も、新型コロナウイルスといった災害、国難に職員一丸となって戦っていきます。また、より一層地域に必要とされる医療機関として、清瀬市に貢献できるよう尽力していきます。」と話されていました。



左から松井副院長、當間院長、渋谷清瀬市長



當間院長と渋谷清瀬市長



感謝状

▶ 東京病院からのお知らせ ◀

当院はご利用いただいている皆さまの安心と安全を確保するため、正面玄関出入口の開錠時間を下記のとおり設定いたしました。皆さまにはご不便をおかけしますが、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

〈開錠時間〉 8:00~20:00

また、当院では入館する全ての方に、「マスクの着用」「入口での検温の実施」「手指消毒」のご協力をお願いしております。新型コロナウイルス等の感染防止のため引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- アレルギー科
- リウマチ科
- 外科
- 消化器外科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科
- 緩和ケア内科
- 感染症内科
- 病理診断科
- 歯科

受付時間：初診 8:30~14:00
再診 8:00~11:00

(科によって、診療を行っていない曜日、時間があります)

予約センター 042-491-2181
(受付時間平日8:30~15:00まで)

専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
呼吸器 関係 外来	禁煙 (予約制)	火(午後) タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険適用となりました。)
	咯血 (予約制)	火(午後2時~) 咳をともなって気道・肺から出血する状態を咯血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
	間質性肺炎 (予約制)	水(午前) この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合もあります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前) 咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月~金(午前) ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを希望の方。
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後) 肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [30分まで11,000円、1時間まで22,000円]
結核・非結核性抗酸菌症・肺真菌症セカンドオピニオン(予約制)	火(午後) 結核・非結核性抗酸菌症・肺真菌症についてセカンドオピニオンを希望される方。 [30分まで11,000円、1時間まで22,000円]	
ものわすれ外来 (予約制)	水(午後)、木(第1・3週のみ)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ脳神経内科を受診してください。)
高次脳機能外来 (予約制)	木(第1・3週のみ)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など。 (あらかじめ脳神経内科を受診してください。)
白内障外来 (予約制)	水(午後1時30分~午後3時30分)	白内障の診断、手術の相談、説明など、これから白内障手術を検討されている方の各種相談などを行っています。

地域医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合 (医療機関)
外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい
CT・MRI検査の申し込み : 地域医療連携室へお電話下さい

地域医療連携室
FAX 042-491-2125 (8:30~17:15)
TEL 042-491-2934 (8:30~17:15)

交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅より無料シャトルバス運行中
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。
(駐車場265台)

利用時間	料金		
平日日中 (7:00~20:00)	30分以内 無料	31分以上4時間まで 200円	以後1時間毎に 100円
平日夜間 (20:00~7:00)	30分以内 無料	31分以上2時間まで 200円	以後1時間毎に 100円
土日祝日 (0:00~24:00)	30分以内 無料	31分以上2時間まで 200円	以後1時間毎に 100円

WEB検索

東京病院

検索

